



YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL

横浜国立大学
大学院国際社会科学府
経営学専攻（博士課程前期）

横浜ビジネススクール
社会人専修コース

2024年度入試日程

（第1次選抜）

学力検査／小論文 2023年11月11日（土）

（第2次選抜）

口述試験 2023年11月25日（土）

YNU

YOKOHAMA National University

横浜ビジネススクールの 理念

21世紀の変動し続けるビジネス環境の下で、現代の社会人には、経営に関する高度な専門知識を習得するとともに、専門知識を実際の経営戦略や業務課題に有機的に結びつけ役立てていく統合的なマネジメント能力が求められています。横浜ビジネススクールは、本学の基本理念である「実践性」、「先進性」、「開放性」、「国際性」、「多様性」に基づいて専門知識の深化と統合を追求した、社会人のための高度で実践的な経営専門教育を目指します。



YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL

横浜ビジネススクールの特徴

本スクールでは、上記の理念を実現するために、以下のような特徴を持っています。

01 徹底した少人数による教育・研究

受講生と教員間のハイタッチなコミュニケーションによる相互作用から今後の企業や社会等のあり方を考えるための新たな知を生み出します。各演習テーマの定員は6名とし、少人数でそれぞれの個性を大切にす知のインターフェイスを実現します。

02 就学しやすい環境

平日の夜(18時50分~21時まで)は、オンライン授業を中心とし、土曜日(9時50分~18時まで)は、緑豊かで設備の整った常盤台キャンパスを利用することで、社会人に最適な教育・研究環境を提供します。

新型コロナウイルス感染症の影響等により、対応の必要がある場合は、遠隔での授業実施となる場合があります。

03 演習テーマの設定

現代社会に求められる2つの演習テーマを毎年設定します。社会的なニーズと教員のシーズを組み合わせ毎年新たな演習テーマを設定し、テーマごとに学生募集を行います。受験生は関心を持ついずれかの演習テーマを選択して受験します。

04 演習の重視

演習テーマの下で専門領域の異なる2人の教員が2年間にわたって研究指導を行う「ワークショップ演習」「プロジェクト演習」を実施します。演習では、参加者同士がディスカッションしながら各自の研究を進め、その成果は「特定課題論文」としてまとめられ、プロジェクト報告会にて発表されます。

05 高いクオリティと経済性

国立大学法人ならではの入学金、授業料の水準は、経済的に大きな魅力となっています。(入学金:282,000円、授業料535,800円)また、2016年から「職業実践力育成プログラム」に設定されたことより、専門実践教育訓練講座として指定されました。

横浜ビジネススクールは、「職業実践力育成プログラム」(BP)として、文部科学大臣に認定されています。



演習 A

持続的な競争優位のための戦略と組織変革

高井 文子 & 山岡 徹

現代では多くの産業が成熟し、少子高齢化による市場の縮小が競争を一層激化させる中、VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) と呼ばれる状況が急速に広がっています。このような環境下では、従来の戦略では競争力を確保することが難しく、持続的な競争優位を築くことは極めて困難です。まず、イノベーションを促進し、柔軟性と変化への適応力を持つ戦略が不可欠です。また、組織変革によって意思決定の迅速化や情報フローの改善も求められるでしょう。演習 A では、経営戦略論と経営組織論の両分野を統合的に学ぶことで、総合的な問題解決と広範な視点を養います。さらに、組織内外の動的なプロセスを考慮したアプローチに重点を置き、様々な分析手法を組み合わせることによって、過去から現在、そして未来へと繋がる探求を行います。

YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL



最終試験に相当するプロジェクト報告会
(修了生が多数参加)

演習 B

社会課題解決に向けた価値共創

— 不確実性の時代におけるビジネスシステム

大雄 智 & 竹内 竜介

本演習では、不確実性の高い環境下で、顧客や社会の課題を解決し、安定的な利益を生み出すために不可欠な無形資産の形成・蓄積とその基盤となるビジネスシステムに焦点を合わせます。とりわけ、社内外のさまざまなステークホルダーとの協働関係の構築と価値の共創は、一社だけでは解決することのできない課題が顕在あるいは潜在している現代において、企業が取り組むべき優先度の高いチャレンジです。本演習テーマの射程は広く、したがって幅広い方々を募集対象としています。業種や職種の多様性を歓迎し、現代社会の課題解決に向けたステークホルダー・エンゲージメントとその中核をなすビジネスシステムのあり方を共に模索し、将来を展望したいと考えています。

講義科目

2022～2023年度実績

リサーチ・メソッド
エコノメトリクス
戦略マネジメント
経営組織
技術マネジメント
マーケティング・マネジメント
ヒューマンリソース・マネジメント
グローバル・マネジメント
管理会計
財務会計
サステナビリティ・マネジメント
アカウンティング
企業財務
ビジネス統計学
組織変革
マネジメントと社会
オペレーションズ・マネジメント
マーケティング・アナリティクス
ビジネス・シミュレーション
リスク管理
国際会計
経営史
特殊講義 (M & A)
特殊講義 (標準化とビジネス)
演習

在校生の声

田中 光喜
(2022年入学)YOKOHAMA
BUSINESS
SCHOOL

01

ビジネススクールに進学した理由は？

転職を機に、これまでのキャリアを棚卸しする中で、職務に関連する専門性の高い学びを深めていきたいという思いが強くなり、チャレンジすることにしました。

02

YBSを選んだ決め手は？

演習テーマが現在の仕事で抱えている課題の解決に直結していたことに加え、自分自身の問題意識にも合致していたことが決め手になりました。

03

どのように勉強に取り組んでいますか？

履修科目ごとに細かくスケジュールを管理して課題や予習・復習に取り組んでいます。また、隙間時間を有効活用するなど、学習時間の確保にも努めています。

04

演習の雰囲気はどうか？

多様なバックグラウンドを持つメンバーがお互いの個性を尊重しつつ日々切磋琢磨しており、共に前向きに楽しく学ぶ姿勢を大切にしているように感じます。

05

役に立ったところは？

行政に長く携わってきたこともあって、経営という観点での学び直して視野が広がり、講義や演習で学んだことを仕事に生かせることが自分の強みになっています。

06

どんな仲間たちと学んでいますか？

実務経験が豊富な仲間たちと、毎週の活発な議論を通じて、各自の経験やリアルタイムの情報を共有しながら、より実践的な学びを深めています。

07

正直言って、入学してよかったですか？

YBSの先生方をはじめ、職場や周囲の協力を得て充実した学生生活を送ることができており、とても感謝しています。このチャンスを掴んで本当によかったと思っています。

01 ビジネススクールに進学した理由は？

マネージングする上で必要な経営や人事管理等の知識とともに、社会に定着したサステナビリティについても、今すぐ学ぶ必要があると考えたからです。

02 YBS を選んだ決め手は？

カリキュラムや費用面等の諸条件が合致していた事が前提にありましたが、決め手は「演習テーマが自分の抱えていた課題とマッチしていた事」でした。

03 どのように勉強に取り組んでいますか？

苦手な科目はしっかり予習しておくことで授業中に理解できるよう努力しています。課題はなるべく早めに取り組み、急な仕事負荷増に備えています。

04 演習の雰囲気はどうですか？

年齢、性別、国籍、業種が異なる仲間と、優しく厳しい先生方のご指導の下、時に意見を言い合い、時に笑い、学ぶことがとても楽しい雰囲気です。

05 役に立ったところは？

仕事から得られる知識や経験がいかに限られたものであったかを思い知りました。自分の思考回路を見直し、改善し、業務に生かしています。

06 どんな仲間たちと学んでいますか？

一生の友人を得ました。仕事をしながら一生懸命に学び、支え合い、得た知識を基に意見を言い合うことができ、素敵で尊敬できて頼りになる仲間です。

07 正直言って、入学してよかったですか？

少人数で手厚いご指導をいただける事、得られる知識と感動、素晴らしい先生方やゼミ生との出会い、大学の環境等、全てにおいて入学して良かったです。

在校生の声

待寺 二三代

(2022年入学)



お問い合わせは下記までご連絡ください。

横浜国立大学
社会科学系事務部
大学院学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-4
横浜国立大学経営学部1号館1階事務室内

Tel : 045-339-3684

E-mail : int.gakumu-all@ynu.ac.jp



YOKOHAMA
BUSINESS
SCHOOL

YNU
YOKOHAMA National University



<https://www.b.ynu.ac.jp/ybs/index.html>